

表 面：父母連アンケートについて/7月代表者会議の報告

裏 面：ほうんネット全国集会の報告・全国保育合研in愛知に参加して



父母連ニュースもDLできる
父母連ホームページも見てね♪
<http://www.soka-fuboren.org>

父母連アンケートへのご協力ありがとうございました！！

皆様のご協力で、今年度も草加市の保育園を取り巻く状況を把握することができました。別紙にアンケートの集計結果を表とグラフにまとめましたのでぜひご覧ください。なお今回の集計に際しては、各ご家庭におけるアンケート用紙の記入はもちろんのこと、各園の集計担当者みなさんにはコンピュータによる入力作業にもご協力いただきました。おかげさまで正確で効率的なアンケート集計が可能となりました。

さて今年度のアンケート結果ですが、例年通りの傾向があらわれた項目がある一方、昨今高まってきている完全給食へのニーズや草加市内での出産率の低下等、最近の動向を色濃く反映した項目もあり、とても興味深い結果となっています。父母連事務局としては今回のアンケート結果を以下のように読み取りました。

- ・ (1) 保育料が高いと感じている家庭が多く、その傾向は低年齢クラスになるほど高くなっている。
- ☒ (2) 保育内容やクラス人数にはおおむね満足しているが、施設・設備に満足している家庭は半数弱である。
- ☒ (3) 時間外・延長保育の利用者が約7割である。
- ☒ (4) 草加市での出産割合が3割に満たず、近隣自治体（特に越谷市）での出産傾向が高い。
- ☒ (5) 完全給食を望む声が多く、自費を負担してでも実施を希望する家庭が7割弱ある。
- ☒ (6) 要望としては依然として保育料の値下げ・完全給食の実施・病児保育の実施を望む声が多い。

これらの結果を受けて、今後の父母連の取り組みをさらに充実させていきたいと考えています。

7月代表者会報告

18父母会、家庭保育室連絡会、保育部会の参加で行われました。

みんなのねがいが形になった

第2きたうら保育園

閉園まで3～5才児の保育園

1～5歳クラス、1年限りで閉園の計画だった第2きたうら保育園は17年度に開設しました。しかしとても素敵な保育が保育課、園長先生、職員の努力でおこなわれ、「こんな素敵な保育園を1年で終わりにしないで！」というねがいを市が受け止めてくれて21年度まで保育園として運営するとしていただきました。

21年度の閉園の際に転園しなければならない子どもたちがかわいそうと、市は最終年度は5才児クラスだけにするという配慮をしてくださいましたが、ちいさい子どもはおにいちゃん・おねえちゃんにあこがれ、大きい子はちいさい子どもたちの世話をするという、子どもたちの育ちの必要な異年齢の子どもたちにあふれる保育園として存続してもらいたいと、第2きたうら保育園の父母会のねがいが、市長さんをはじめ議会、保育課などの努力もいただいて実現しました。この核になったのは第2きたうら父母会であり、父母連に参加する父母会が力をあわせてここまでこぎつけてきました。ともによろこびあいたいことです。

市は市立保育園に

0才児をやめちゃう？

家庭保育室だけで0才児保育？

7月に父母連は市から「家庭保育室整備計画（素案）」という文書をいただきました。家庭保育室を増やして公立保育園の0才児保育をなくしていこうという検討です。草加市次世代育成支援行動計画協議会など、たいせつなところにも報告されていないことがらなので、市を含めたたくさんの人たちと検討したいことです。

家庭保育室の充実の条件に、公立保育園の0才児保育廃止はおかしなおはなしか？ 草加の子育てに不可欠な家庭保育室です。これに株式会社参入解禁などが無いようにと切に思うところです。

なつまつり

他の園はどうしてる？

各保育園、父母会のとりくみの工夫や苦労を交流しました。0-175問題以来、食べ物の自己規制が足かせになって食べ物は厳しいですが、各父母会の工夫を交流しました。